

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立阿賀小学校
(阿賀中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+7.8	+5.5
令和4年度	+5.4	+4.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語	
<p>●---● 全国平均 —●— 県平均 —×— 本校</p> <p>本校 75 % 全国 67.2 % 県 69%</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎複数の資料から読み取ったことを関連付けること、それを論理的に文章化することに課題がある。設問1二【書くこと】(正答率43%, 無回答率3.8%) ◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。設問1三(1)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(正答率48.1%, 無回答3.8%) ◇文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。(設問3二)【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】(正答率43.9%) <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎授業等における制限する、揺さぶる、確かめさせることを積み重ね、文章を書くことに慣れさせる。 ◎文脈に沿って漢字が書けるように練習する。国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、適切に漢字を用いるよう指導する。既習の漢字も復習していく。 ◇国語科の学習では、漢字テストを継続して行いつつ、キュビナを活用し、基礎的な学力を身につけていく。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問1) (第5・6学年) (1月) 目標75%→結果84.1% 標準学力調査(各学年) (12月) 目標 全国平均+3%→結果+13.6% ◇全国学力(設問3二)の問題(第9学年1月) 目標50%→結果86%
算数	
<p>●---● 全国平均 —●— 県平均 —×— 本校</p> <p>本校 68 % 全国 62.5 % 県 64%</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎底辺の長さが高さが等しいが、形の異なる三角形の大小を比較することに課題がある。(設問2(4))【図形】(正答率21.5%, 無回答3.8%) ◎日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること(分配法則)に課題がある。設問3(4)【数と計算】(正答率46.8%, 無回答1.3%) ◇条件を変えた場合に、事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。(設問9(2))【図形】(正答率38.8%) <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎授業等における制限する、揺さぶる、確かめさせることを積み重ね、解き方、法則、概念等の本質をしっかりと理解した上で学習課題の解決に向かわせる。 ◎除法の筆算について、図と関連付けて考察させる。関係図や数直線を大切に指導する。位を継続的に指導していく。また、計算の力は、徹底して付けておく。 ◇解決された問題の条件を変えるなど、新たな問題を見い出して、その特徴を数学的な表現を用いて説明する機会を設定する。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問3(4)) (第5・6学年) (1月) 目標75%→結果91.1% 標準学力調査(各学年) (12月) 目標 全国平均+3%→結果+22.6% ◇全国学力(設問9(2))の問題(第9学年, 1月) 目標45%→結果58%

【来年度に向けて】国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、適切に漢字を用いるよう指導する。対話やタブレットを効果的に活用し、解き方や考え方を説明し合い、学力の向上を図る。授業のまとめなど、条件に合わせて書く指導を行い、大切なことを短く書く活動を取り入れていく。